

市町村名		渡名喜村						
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	渡名喜村多目的拠点施設整備事業		沖縄２１世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)			
					災害に強い県土づくりと 防災体制の強化			
担当部課名	民生課	事業実施 （予定）年度	平成26～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-10(2)、Ⅲ-9、Ⅲ-4			
事業内容	子ども預かり所、老人福祉施設、歴史民俗資料館、災害時避難施設などからなる多目的拠点施設を整備する。							
効果発現年度	□当年度 ■後年度（31年度）							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			26年度	27年度	27年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	21,188	103,431	—	650,287	—	
		(b) 予算現額	20,304	158,260	—	667,904	—	
		(c) 増減額（b-a）	▲ 884	54,829	—	17,617	—	
		(d) 繰越額	—	—	61,680	—	473,526	
		A. 計（b+d）	20,304	158,260	61,680	667,904	473,526	
	B. 執行済額		20,304	96,433	61,463	194,378	473,526	
	うち交付金充当額		16,243	77,146	49,170	155,502	378,821	
	次年度繰越額		0	61,680	—	473,526	—	
	執行率（％）（B/A）		100.0%	60.9%	99.6%	29%	100%	
予算の状況の説明		資材単価の入れ替えや島での職人の確保が困難なこととなったことから、当初の予定より経費を追加計上を行い、17,617千円を9月補正で増額した。また、解体工事の過程でPCB等の廃棄物が解体施設内で発見されたことにより、解体工事の完了に不測の日数を生じたため、建築工事費に係る473,526千円を29年度に繰越した。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	施設改築工事実施	目 標	（ 実施設計、解体設計、 測量土質調査、施工 管理、解体工事の設 計、資料収納倉庫の 建設の実施 ）	（ 施設改築工事の実 施 ）	（ ）	（ ）		
		実 績	実施設計、解体設計、測量土 質調査、施工管理、解体工事 の設計、資料収納倉庫の建設 の完了	施設改築工事の完了				
達成 状 況 説 明	平成28年度より建築工事を開始したが、工事執行にあたり天候不良や職人の確保が困難となったことから工事に不測の日数を要したため、建築工事、電気工事、機械工事の完了に平成29年度末まで期間を要したが、全ての工事の完了を目標どおり達成することが出来た。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	28年度	29年度	30年度	目標値 （31年度）
	平成29年4月1日の供用開始に向けた事業 の着実な実施(建設完了)	目 標	（ ）	（ 建設完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		建設完了				
	【H31成果目標】 （子ども預り所） 保護者へのアンケートで、育児に関する負担が軽減されるなど、子育て環境が充実したとの回答割合80%以上	目 標					80%以上	
	【H31成果目標】 （老人福祉施設） 来場者数 2,351人以上/年	目 標					2,351人以上/ 年	
	進 捗 状 況 説 明	・多目的拠点施設の建設については、平成30年2月中旬に建設完了となった。現在は今後施設の供用開始に向け準備を進めている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・施設の整備は完了したが、子ども預り所や老人福祉施設等に必要な備品の購入が必要である。	・施設活用に必要となる備品の選定を早期に進める必要がある。
今後の取り組み方針		
・子ども預り所や老人福祉施設等の供用開始に向けて、早期に購入備品の選定を行い、平成31年度の供用開始を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>667,904</td><td>659,286</td><td>527,429</td><td>131,857</td><td>8,618</td></tr></table> 渡名喜村 659,286千円 委託費 19,958千円 (有)め〜ばる設計工房 19,958千円 渡名喜村多目的拠点施設 工事施工管理業務委託 工事費 639,328千円 (有)南風原工務店 511,812千円 渡名喜村多目的拠点施設 整備工事(建築) (株)共和総業 77,566千円 渡名喜村多目的拠点施設 整備工事(電気) (有)広設備工業 49,950千円 渡名喜村多目的拠点施設 整備工事(機械)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	667,904	659,286	527,429	131,857	8,618
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
667,904	659,286	527,429	131,857	8,618										
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については増額が17,617千円出ているが、躯体工事の渡航費、宿泊費を離島工事の実情に合わせ追加計上したものであり、適正な規模であったと考えている。 ○費用・使途については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												